

授業科目名 <英訳>	文化・地域環境方法論 Methodology of Cultural, Areal, and Environmental Studies		担当者氏名	人間・環境学研究科 教授	菅原 和孝				
				人間・環境学研究科 教授	風間 計博				
				人文科学研究所 教授	田中 雅一				
				人文科学研究所 准教授	石井 美保				
				人間・環境学研究科 教授	小島 泰雄				
				地球環境学堂 教授	小方 登				
				人間・環境学研究科 教授	伊従 勉				
				人間・環境学研究科 教授	西垣 安比古				
				人間・環境学研究科 准教授	中嶋 節子				
				奈良文化財研究所	小野 健吉				
				人間・環境学研究科 教授	玉田 芳英				
				人間・環境学研究科 准教授	高妻 洋成				
				人間・環境学研究科 准教授	馬場 基				
				人間・環境学研究科 准教授	山崎 健				
配当学年	修士	単位数	2	開講期	前期	曜時限	水6	授業形態	講義
【授業の概要・目的】									
民族・地域の特性や居住の諸相を文化・地域環境として捉え、建築学・人文地理学・文化財学・図形科学・文化人類学などの既存の諸分野を踏まえつつ、それらの融合を図ることによって、文化・地域環境の生成・展開・構築・保全の諸過程や現状の解明をめざすための基礎的な理論を教授する。									
【授業計画と内容】									
以下のように、リレー講義の形式で行なう。									
1.地域空間論分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 3回開講。									
2.文化人類学分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 3回開講。									
3.環境構成論分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 3回開講。									
4.文化遺産学分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 3回開講。									
ただし、分野の開講順番は、年度により変わることがある。									
【履修要件】									
文化・地域環境論講座に所属する修士課程の学生は必修。									
【成績評価の方法・基準】									
出席状況とレポート（2本以上）によって評価する。 レポートの課題は、講義担当の各教員から提示される。 少なくとも二つのレポートを、指導教員以外の教員に提出することとし、少なくとも1本は異分野教員に提出すること。									
【教科書】									
なし									
【参考書等】									
（参考書） 授業中に適宜、指示する。									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
各教員が個別に指示する。									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									